



国土を整え、全力で備える

国土交通省
中国地方整備局

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Chugoku Regional Development Bureau

お知らせ

記者発表資料 令和3年8月23日

■同時発表先：合同庁舎記者クラブ、鳥取県政記者会、島根県政記者会、岡山県政記者クラブ、広島県政記者クラブ、山口県政記者会、山口県政記者クラブ、山口県政滝町記者クラブ、中国地方建設記者クラブ

令和3年度 中国地方整備局入札監視委員会 第二部会第1回定例会議の審議概要について

中国地方整備局入札監視委員会第二部会は、令和3年度第1回定例会議を令和3年7月6日（火）に開催し、令和2年4月1日から令和2年9月30日までの間に契約した工事、建設コンサルタント業務等、役務の提供等及び物品の製造等の中から抽出した5件の事案について、入札及び契約の過程並びに契約内容について審議を行いました。

審議概要については、次頁以降にてお知らせします。

<問い合わせ先>

広島市中区東白島町14-15 NTTクレド白島ビル13階
中国地方整備局入札監視委員会第二部会事務局
082-511-3900（代表）

◎総務部 契約管理官

にいばやし けんじ
新林 健二（内線130）

港湾空港部 品質確保室長

あだち たかし
安達 崇（内線250）

別紙1

【工事】

(一般競争入札方式:政府調達に関する協定適用対象工事)

工事名	工事種別	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)
福山港箕沖地区岸壁(-10m)築造工事	港湾土木工事	4	4	令和2年7月9日	五洋・みらい特定建設工事共同企業体	1,219,240	91.81

(一般競争入札方式:政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの)

工事名	工事種別	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)
鳥取港千代地区防波堤(第1)(西)築造工事(その2)	港湾土木工事	2	2	令和元年5月29日	(株)伊藤組	57,200	98.04
岩国港臨港道路新港室の木線仮棧橋工事	空港等土木工事	3	3	令和2年9月2日	洋林建設(株)	206,470	90.05

【建設コンサルタント等業務】

(一般競争入札方式)

業務名	業種区分	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)
水島港土砂処分検討業務	建設コンサルタント等	令和2年9月16日	(株)エコー	23,980	80.00

【役務の提供等及び物品の製造等】

(一般競争入札方式)

業務名	業務分類	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)
港湾業務艇「りゅうせい」修理工事	役務の提供等	令和2年7月30日	石田造船(株)	9,658	99.78

中国地方整備局入札監視委員会 第二部会 審議概要

開催日及び場所	令和3年7月6日(火) 白島庁舎会議室	
委員	野田 和裕 (広島大学大学院法務研究科教授) 鈴木 素之 (山口大学大学院創成科学研究科教授) 梅津 貴 (中国経済連合会常務理事)	
審議対象期間	令和2年4月1日～令和2年9月30日	
抽出案件	計 5件	(備考)
工 事		
一般競争 (政府調達に関する協定適用対象工事)	1件	別紙1のとおり
一般競争 (政府調達に関する協定適用対象工事以外)	2件	〃
建設コンサルタント業務等	1件	別紙1のとおり
役務の提供等及び物品の製造等	1件	別紙1のとおり
	意見・質問	回 答
委員からの意見・質問、それに対する回答等	別紙2のとおり	別紙2のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	

議事項目、意見・質問	議事結果、回答
<p>1. 抽出案件の審議</p> <p>①「福山港箕沖地区岸壁(-10m)築造工事」</p> <p>Q1. 技術評価点について、どの時点で審査しているのか。</p> <p>Q2. 技術評価点、予定価格など入札・契約に関する資料の情報管理はどのように行っているか。</p> <p>Q3. 企業の同種工事の実績において、共同企業体代表者と構成員の要件にはどのような違いがあるのか。</p> <p>Q4. 今回は4者の申請があったとのことだが、本件工事を担当できる企業はどのくらいあるのか。</p> <p>○この入札・契約は適切であると判断します。</p>	<p>A1. 技術評価点については、競争参加資格確認資料等の提出期限後の、技術審査会で審査している。</p> <p>A2. 技術評価点、予定価格など業務ごとに情報管理者を設定し、情報管理者以外はその情報に触れられないようにしている。また、審査段階ではマスキングをして、申請者が分からない状態で評価している。</p> <p>A3. 企業の同種工事の実績については、代表者は要件としている3種類の同種工事の実績を全て有している必要がある。一方で構成員については、代表者の要件から数量を緩和した3種類のいずれかの実績を有していれば良いという違いがある。</p> <p>A4. 本件の参加可能業者をデータベースで確認したところ、22者あった。</p>
<p>②「鳥取港千代地区防波堤(第1)(西)築造工事(その2)」</p> <p>Q1. 競争参加資格一覧表の「過去2年間の当該工種の実績がある場合は、工事成績点の平均が65点以上」の項目で、過去の実績が無い者について、どのように評価しているのか。</p> <p>Q2. 発注前の概算工費は約8,000万円となっているが、入札結果の予定価格は約5,300万円であり、予定価格と概算工費の差があるがどのような理由によるものか。</p> <p>○この入札・契約は適切であると判断します。</p>	<p>A1. この項目は、当局での工事成績点により必要最低限の施工能力を有しているか否かを確認するものであるため、過去の当局での実績がないものは該当する工事が無いことから評価できない。ただし、他機関での同種工事の実績があれば競争参加資格はありと判断している。</p> <p>A2. 概算工費は、過去の同地区での発注事例を参考にしたもの。最終的な予定価格の決定にあたっては、本工事の施工箇所が波浪等の影響が比較的少ない箇所であるため、精査した結果、概算工費と予定価格に差が生じた。</p>
<p>③「岩国港臨港道路新港室の木線仮棧橋工事」</p> <p>Q1. 技術提案で、施工能力等の評価点が、申請のあった3者がそれぞれ、16.5点、18.0点、13.5点</p>	<p>A1. 普通かどうかは、一概には言えないが、施工能力等の評価点は、標準的な施工能力を有してい</p>

<p>となっており、落札した業者の点数は18.0点だったが、最大32点に対して18.0点というのは普通の値なのか。</p>	<p>る者に対して過去の実績などにより加算する点であり、評価基準に照らして評価している。</p>
<p>Q2. 総合評価の評価基準について、工事ごとに配点を変えているのか。</p>	<p>A2. 作業船を使用する工事に該当するかなど、各工事の実情にあわせて評価項目や配点を変えている。</p>
<p>Q3. 総合評価の評価基準に、表彰を受けたかどうかなどの項目があるが、このような表彰は年間どの程度されているのか。</p>	<p>A3. 事務所の発注件数にもよるが、各事務所で1～2件を推薦し、港湾空港関係の事務所が全部で4事務所あるので、年間最大で8件表彰している。</p>
<p>○この入札・契約は適切であると判断します。</p>	
<p>④「水島港土砂処分検討業務」</p>	
<p>Q1. このような検討業務においては、予定価格の算定が難しいのではないかと思われるが、何を参考に予定価格を検討したか教えて欲しい。</p>	<p>A1. 積算基準にあるものもあるが、基準にないものは、競争参加者全てに見積書の提出を求め、その見積もりを解析し、積算に使用した。各競争参加者にはどのように見積もりを使用したかは提示している。</p>
<p>Q2. 技術評価について、客観性を担保するために外部に評価を委託されているのか。</p>	<p>A2. 技術評価については、外部に委託はしていないが、客観性を担保するため、評価を行うものには業者名がわからないようにして、3名がそれぞれに評価して結果を集計し評価点を決定している。</p>
<p>○この入札・契約は適切であると判断します。</p>	
<p>⑤「港湾業務艇「りゅうせい」修理工事」</p>	
<p>Q1. 参加可能登録業者数が21者あるということだが、結果的に入札に参加した業者は1者である。1者にとどまった背景はどのように分析しているのか。</p>	<p>A1. 船舶の修理工事の実績は、当局では他にも船舶を何隻か所有しているが、毎回このように数社のみ申し込みが続いている。どこの造船所も忙しく、他の修理を抱えているため、参加者が少ないのではないかと分析している。</p>
<p>Q2. 予定価格の算定はこれまでの実績で算定されているのか。</p>	<p>A2. 一部積算基準に無い歩掛かりは見積もりを依頼している項目もあるが、基本的には積算基準で算定している。</p>
<p>Q3. 第1回入札価格と最終の落札価格の差が大きいと、落札者が確実に実施できるのか心配な気もするが、その辺りは常に見直し・検討をされているのか。</p>	<p>A3. 本件では、第1回の開札後に予定価格との差が大きかったため、積算の考え方を確認し、補足説明を行ったうえで、2回目以降の開札を行った。</p>
<p>Q4. 修理中も時々運航したりもするのか。一定期間</p>	<p>A4. 船舶修理においては、船を船台に上げて集中的</p>

<p>使えないことになるのか。</p> <p>○この入札・契約は適切であると判断します。</p>	<p>に修理をするので、1ヶ月前後は他には使えない。</p>
--	--------------------------------

議事項目、意見・質問	議事結果、回答
<p>2. 指名停止等の運用状況の報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3件 	<p>意見・質問なし</p>
<p>3. 再度入札における一位不動状況の報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 該当なし 	<p>意見・質問なし</p>
<p>4. 入札談合に関する情報等への対応状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 該当なし 	<p>意見・質問なし</p>
<p>5. 低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況の報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 該当なし 	<p>意見・質問なし</p>
<p>6. 一者応札の発生状況の報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 5件 	<p>意見・質問なし</p>
<p>7. 不調・不落の発生状況の報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2件 	<p>意見・質問なし</p>
<p>8. 高落札率の発生状況の報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 6件 	<p>意見・質問なし</p>
<p>9. 再苦情処理の報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 該当なし 	<p>意見・質問なし</p>